

知ることです守られる

新都心「沖縄の杜」

開発が進む新都心地区に、豊かな自然が残されているのをご存知ですか。

新都心公園「沖縄の杜ゾーン」と呼ばれるこのエリアには、森と池が残り、オリイオオコウモリやキノボリトカゲ、小川にはタウナギなどの貴重生物が生息しています。また、沖縄の杜愛護会のみなさんの活動により池の上では、松の木の枝でミサゴが魚を食べ、冬場には渡り鳥のオオバンやカイツブリがやつてきます。

まだまだ若い森ですが、沖縄県中南部在来の植生や生き物が見られる場所として、地域住民や沖縄の杜愛護会との協働により大切に保護していきます。

※安全のため、施設整備が完了するまでは一般の人は立ち入りできません。観察会を行いたい場合はお問い合わせください。

環境保全課 951・3229
花とみどり課 951・3225



池の松の木で
魚を食べていることも

ミサゴ

魚を食べるタカ的一种。水面上でホバリングし、魚を捕りねぐらで食事をします。サシバよりも大きくて、頭と胸が白く、羽を広げると1.5m以上あります。



方言名は、
ゆうがらさー
(夜のカラス)

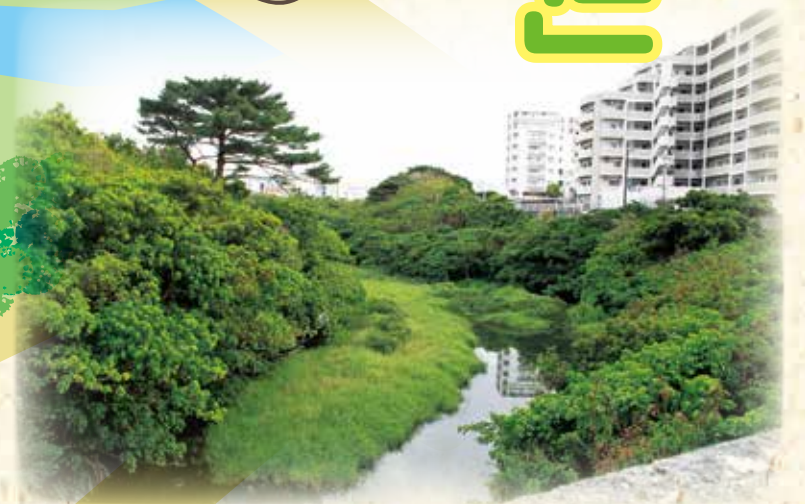
ゴイサギ

主に夕方や早朝に活動します。この写真は、タナガエビ（テナガエビ）を捕っているもので、上手にお尻から飲み込んでいました。

ここから鳥の
観察ができます。



県道 82 号線→



夜明け前に
キュロロローと
鳴きます

アカショウビン

カワセミの仲間です。夏に東南アジアから渡ってくるものもあり、沖縄の杜でも夏に確認しています。恥ずかしがり屋さんで、昼間は森に隠れています。

銘苅じんじん広場



じんじん(ホタル)

5～6 月は、じんじんのピークです。

「沖縄の杜」の生き物たちの動画を、市のフェイスブックで紹介しています！

ミサゴが魚を食べている姿は必見です！



ボランティア募集中！

沖縄の杜愛護会では、ボランティアを募集しています。興味のある方はご連絡ください。
☎090・1944・7215(島袋)

この自然を守るために
やるものがたくさんあります



沖縄の杜愛護会
会長 島袋 正治さん

私が小さい頃は、この地域にはウグイスやキノボリトカゲ、ゲンゴロウ、タガメなどいろんな種類の生き物がいて、自然から多くのことを学びました。愛護会では、外来の牧草を除去し水面を広げる活動、野鳥や蝶の幼虫のエサなどになる在来の植物を育てて森に植える活動をしています。この豊かな自然を、今の子どもたちにも楽しんでもらいたいですね。